

津波避難の質疑応答 2023_1207

大矢知地区自主防災協議会

Q 1 __大地震、大津波時のサイレン吹鳴方法を教えてください

A 1 __気象庁より大津波警報が発令されると、気象庁よりJアラートが吹鳴される。すなわち四日市市の防災無線が自動的に大津波警報のサイレンが吹鳴されます。Jアラートサイレンは1回ですので、その後四日市市として15分程度大津波警報のサイレンの吹鳴と避難の呼びかけをします。

避難信号は吹鳴しません

大津波警報【3-2休-3-2休-3 放送】繰返し3回

避難信号 【60-5休-60-5休-60 放送】1回

Q 2 __津波避難ビルの市の職員による開設はありますか

A 2 __津波避難ビルには開設という考え方はありません。津波警報が発令された時点で自動的に津波避難ビルとなり、出入口が開いていれば上階に避難し、閉まっていれば所定の方法で上階に避難してください。場合によっては、ガラスを破壊して上階に避難することがあります。

Q 4 __津波ハザードマップの想定震度、想定条件を教えてください

A 4 __想定震度

平成23年三重県予測

1 __東北地方太平洋沖地震と同規模の地震 9.0 想定 of 津波

平成25年三重県予測

2 __過去最大クラスの南海トラフ地震 8.6 想定 of 津波

3 __理論上最大クラスの南海トラフ地震 9.1 想定 of 津波

四日市市津波ハザードマップは3の予測9.1により作成した想定条件

1 __満潮時 TP+1.1m 強風による吹寄せ高潮は考慮されていない 低気圧による吸上げ高潮は考慮されていない

2 __護岸、防波堤は地震動により破壊する

3 __盛土構造物は地震動により25%の高さになり、津波越流により破壊する

Q 5 __西側片割れの場合の対応、東側片割れの場合の対応教えてください

A 5 __西側片割れの場合、まだ本震がきていないので津波に対する一週間の避難生活必要になります。東側片割れは本震がきましたので津波に対する避難生活はなく、実際の避難生活が始まります。

1707年 宝永地震 全割れ

1854年	安政東海地震	半割れ	東
1854年	安政南海地震	半割れ	西
1944年	昭和東南海地震	半割れ	東
1946年	昭和南海地震	半割れ	西

- Q 6 __市役所担当者がまだ到着していない時に、防災無線使用してよいか
A 6 __無線の混乱を防ぐ為に防災無線使用者は市役所担当者のみとして
おります。担当者以外は防災無線使用しないで下さい
- Q 7 __5 m以上の地区には津波避難ビルがありませんが、5 m以上の指定避難所に5 m以下の住民が多数避難してくる可能性が大きいです、雨降りであったり氷点下であったりしたら5 m以上の指定避難所も避難ビル相当の建物（破壊して侵入可能）にできないか
A 7 __命を守る場合に限り可能です。ただ高台なので津波の危険はすくなく、基本市役所担当者が開設するまで外で待機下さい
津波避難ビルは、浸水する区域にあり津波に襲われたあと数カ月から数年は周辺ライフラインを含め通常に戻るまで時間が必要であるため、ガラスを割って進入しても、事実上ガレキで割れてしまう場合と大差がないと考えられます。
- Q 8 __避難所状況報告書の報告事項の被災者と避難者の区別を教えてください
A 8 __インフラ回復後に自宅に戻れる人を避難者、インフラ回復しても仮設住宅が必要な自宅半壊以上の人を被災者とする